

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成10年5月20日発行(毎月1回20日発行)
物性研究 第70巻 第2号

ISSN 0525-2997

vol.70 no.2

物性研究

1998 / 5

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し議論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、特別寄稿、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 本誌の論文を欧文の論文中で引用される時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) 69 (1997), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷料金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率約86%)
 - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 手書き原稿の場合の原稿作成要領については、刊行会までお問い合わせ下さい。
6. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

編集後記

最近、2冊の本を読んだ。「科学の終焉」(The End of Science)と「奪われし未来」(Our Stolen Future)である。ざっと、流し読みしただけで誤読しているかも知れないが、重要な問題を提起しているように思う。特に、後者はいわゆる環境ホルモンの問題で人類の絶滅につながりかねない問題である。化学物質が生体のホルモンと同様の働きをして生殖、成長などの重要な生体の機能を攪乱するというものである。食物連鎖を通じて幾百万倍にも濃縮され、最上位にある人間に最も大きな影響を及ぼす可能性が高い。推理小説をも凌ぐ偶然と、執拗な研究によって明らかにされたところによると、極微量でも極めて重大な被害を及ぼすというものである。それは環境ホルモンが生体が男女に分岐したり、重要な器官を形成するときに作用すると、攪乱され正常な成長や生殖が阻害され子孫が絶える恐れがあるということである。未だ、問題は始まったところであり、その被害の全体像を明らかにするには長期にわたる粘り強い研究が必要であり、まさに科学の総動員が必要である。「科学の終焉」などといっておれる状態ではないのである。まさに我々は人類が「科学の進歩」の名の下に発展させてきた化学物質の生物に及ぼす効果の負の効果に対する研究の未熟さを示すものであり、自然を改良し、支配したと考えた人間の思い上がりに対する警告のようである。

前者の本で紹介される科学者、物理学者は後者のような社会の混乱、苦しみとは隔離した科学のユートピアに住み、楽しく自由に研究をしているようである。著者は最先端と称される現在の科学と科学者を一般社会の目で見、異常であり、終焉の兆候を認めている。若者達が正常な判断力をもっていればこのような物理を目指したりせず、生物や医学を目指すのは当然のことと思われる。もとより生物学や医学も現在の科学としての矛盾の中にあるとしても、社会の批判にさらされることによって正しい方向を目指すものと思われる。科学者の閉じた狭い世界で論文賞などで讃えあい、励ましあっている中に現実には科学の責任を厳しく追及しているようである。農薬や化学工業、原子力、石油文明など産業革命以後、2百年程の期間に人類が発展させて来た科学の進歩がそれまで40万年続いた文明に較べて優れていたかどうかは数万年のスケールで見なければ評価できないのではないだろうか。

K. Y. (即天去私)

[物性研究]

編集長

関本 謙 (京大・基研)

編集委員

池田 隆介 (京大・理・物理)

佐々木 豊 (京大・理・物理)

水口 毅 (京大・理・物理)

山田 耕作 (京大・理・物理)

吉村 一良 (京大・理・化学)

武末 真二 (京大・総合人間)

村瀬 雅俊 (京大・基研)

小嶋 泉 (京大・数研)

各地編集委員

津田 一郎 (北大・理・数学)

本堂 毅 (東北大・理・物理)

佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)

初貝 安弘 (東大・工・物理工学)

堀田 貴嗣 (東大・物性研)

山田 鏑二 (信州大・理・物理)

平田 文男 (分子科学研)

大野 義章 (名大・理・物理)

池田 研介 (立命館大・理工・物理)

宮下 精二 (阪大・理・宇宙地球)

松井 淳 (九大・理・物理)

好村 滋行 (九工大・情報工)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第70巻第2号 (平成10年5月号) 1998年5月20日発行

発行人 村瀬 雅俊 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 昭和堂印刷所 〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側
TEL (075) 721-4541~3

発行所 物性研究刊行会 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

[物性研究]

編集長

関本 謙 (京大・基研)

編集委員

池田 隆介 (京大・理・物理)
佐々木 豊 (京大・理・物理)
水口 毅 (京大・理・物理)
山田 耕作 (京大・理・物理)
吉村 一良 (京大・理・化学)
武末 真二 (京大・総合人間)
村瀬 雅俊 (京大・基研)
小嶋 泉 (京大・数研)

各地編集委員

津田 一郎 (北大・理・数学)
本堂 毅 (東北大・理・物理)
佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)
初貝 安弘 (東大・工・物理工学)
堀田 貴嗣 (東大・物性研)
山田 鏑二 (信州大・理・物理)
平田 文男 (分子科学研)
大野 義章 (名大・理・物理)
池田 研介 (立命館大・理工・物理)
宮下 精二 (阪大・理・宇宙地球)
松井 淳 (九大・理・物理)
好村 滋行 (九工大・情報工)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第70巻第2号 (平成10年5月号) 1998年5月20日発行

発行人 村瀬 雅俊 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 昭和堂印刷所 〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側
TEL (075) 721-4541~3

発行所 物性研究刊行会 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

会員規定

個人会員

1. 会費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお支払い下さい。

年会費	1st Volume (4月号～9月号)	4,800円
	2nd Volume (10月号～3月号)	4,800円
		計 9,600円

お支払いは、郵便振替でお願いします。当会専用の振替用紙がありますので、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めに「退会届」を送付して下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、必ず送本先変更届を送付して下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく 2 Volumes 以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご留意下さい。

機関会員

1. 会費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、年会費 19,200円 (1 Volume 9,600円) です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類 (請求、見積、納品書) が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より 6 ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075) 722-3540, 753-7051

FAX (075) 722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物性研究 70-2 (5月号) 目次

○講義ノート

「強相関伝導系の物理 若手秋の学校」…………… 113

○ひろば

第12回西宮湯川理論物理学シンポジウムに参加して…佐々 真一 …… 364

○編集後記…………… 368

物性研究 70-2 (5月号) 目次

○講義ノート

「強相関伝導系の物理 若手秋の学校」…………… 113

○ひろば

第12回西宮湯川理論物理学シンポジウムに参加して…佐々 真一 …… 364

○編集後記…………… 368